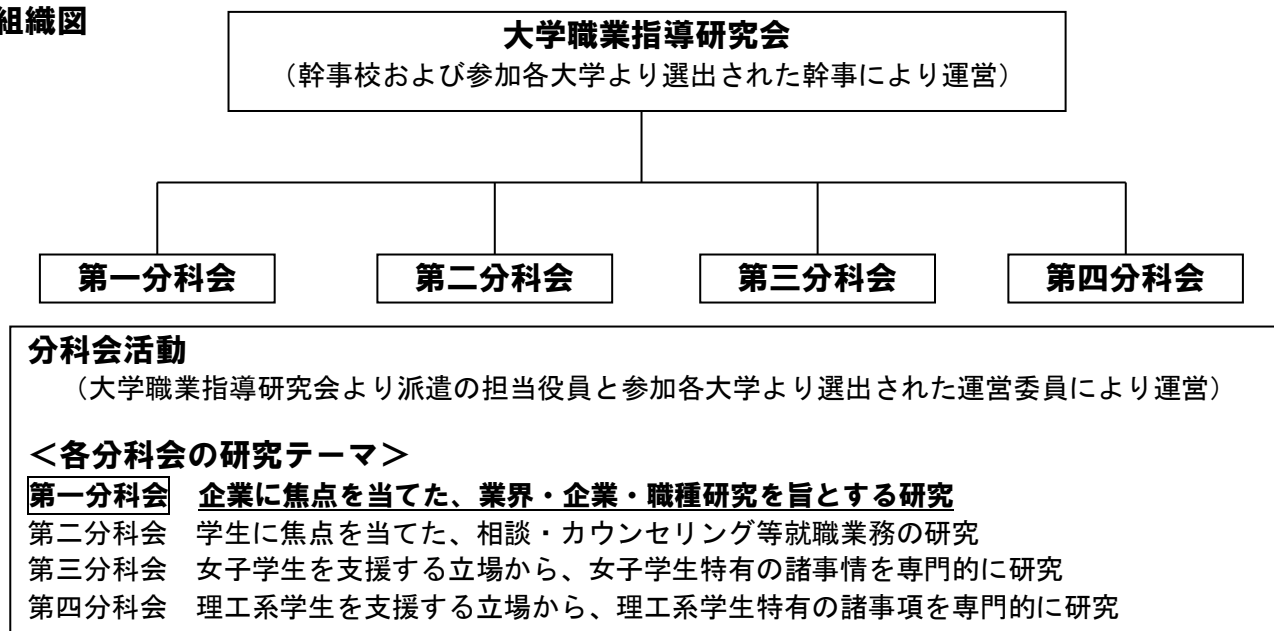


大学職業指導研究会 とは

首都圏を中心とした私立大学の就職業務に携わる担当者が、業務における共通課題について研究・協議および情報交換を行い、学生の就職活動を支援することを目的として、1969（昭和44）年に発足しました。

現在およそ120校で組織されており、研修会・講演会・情報交換会などの開催、各種調査および資料の編纂に取り組んでおります。なお、大学職業指導研究会には研究テーマ別に以下の4分科会が設置されています。

組織図



大学職業指導研究会 第一分科会 の活動内容

研究テーマ「業界・企業・職種研究」に則り、2019年度は64大学78名の会員が活動を行っております。

本年度はサブテーマを「学生にとっての優良企業とのマッチングを探る」と掲げ、3部構成（講演会・グループ研究（企業訪問）・企業人事担当者との情報交換会）による活動を通じて、会員の学生支援に向けた資質の向上を目指しております。また、本年度は従前にも増したグループ活動の強化を目指しており、業種別に編成された7つの研究グループ個々による企業との交流を中心に、研究を深めていきます。

情報交換会では、企業・大学双方に有意義な情報交換を目的とし、採用情報や企業情報などを中心に、ホームページや会社案内（パンフレット）だけではイメージが難しい事業内容や職場環境等についてお話を伺っております。これにより学生に対して詳細な情報が還元でき、雇用のミスマッチを回避し、参加企業の多くへ会員校より採用ビジョンに適った学生を輩出しております。

加盟大学（64大学 6月6日現在）

青山学院大学、亜細亜大学、跡見学園女子大学、桜美林大学、神奈川大学、川村学園女子大学、神田外語大学、北里大学、杏林大学、敬愛大学、工学院大学、國學院大学、国際基督教大学、国際武道大学、国士舘大学、駒澤大学、相模女子大学、実践女子大学、芝浦工業大学、十文字学園女子大学、淑徳大学、上智大学、昭和女子大学、聖学院大学、成城大学、清泉女子大学、専修大学、創価大学、大正大学、大東文化大学、高千穂大学、拓殖大学、多摩大学、玉川大学、千葉商科大学、中央大学、中央学院大学、津田塾大学、帝京大学、東海大学、東京経済大学、東京国際大学、東京女子大学、東京造形大学、東京電機大学、東京都市大学、東洋大学、東洋英和女学院大学、東洋学園大学、獨協大学、日本大学、日本体育大学、文教大学、武蔵大学、武蔵野大学、武蔵野美術大学、明海大学、明治大学、明星大学、目白大学、山梨学院大学、立正大学、和光大学、和洋女子大学